

前橋積善会 厩橋病院 歴史資料館について

南西の十字路の拡幅、整備を望む声が上がっています。そのため、道路改良のための道路用地を前橋積善会から市に寄付することで市道の拡幅、歩道の整備や十字路の拡幅、整備を早期に実施すること

を目指して前橋市と調整を行ってまいりました。

その結果、平成三十一年度中に前橋積善会の変電設備や作業棟や物置などの移転を完了させ翌年度に市道改良を実施する計画となり、円滑な事業推進を心掛け業務を進め

ているところであります。

市道の整備完了が終了するまでは、解体工事や道路工事等で病院や看護学校の運営に支障をきたすことの無いよう努めてまいりますので、会員の皆様には、工事終了後、

新しくなった病院を含め整備された前橋積善会の姿にご期待ください。

これからも、会員の皆様と栗木理事長はじめ、役員・職員の皆様と力を合わせ「慈悲善隣」の考えのもと、地域とともに公益社団法人前橋積善会

が益々発展し続けるために勤務に励むことをお誓い申しあげ新任のあいさつとさせていただきます。

平成二十三年に入った頃でしたか、ある時、天

谷院長が我々医局員に「厩橋病院で働いてるけど、みんなあんまり積善会の事知らないんじゃないかな？調べてみたらなかなか面白いんで、ちよつと今日やってみま

生が時々この話を講話されていくということでしたが、聞いて終わりというのではあまりに勿体ない！形として残せないだろうかと考えるようになり「歴史資料館」が浮か

この時は全く探し当てることが出来ませんでした。

すね。」と『前橋積善会百年史』や天谷先生自身が出かけて撮ってきた十数枚の写真を映しながら語ってくれたことがあります。広瀬川にかかる国道十七号の橋が『厩橋』と教えられ「へえ」と驚いたり、積善会創始者の遠藤海象等明治の人々の心意気に感動

してしまったり、大分惹かれてしまいました。それから、家族会や新入職員の研修会で天谷先生が時々この話を講話されていくということでしたが、聞いて終わりというのではあまりに勿体ない！形として残せないだろうかと考えるようになり「歴史資料館」が浮か

びました。といつても最初は待合室の廊下を利用する位しかスペースも無いと思っていました。当時の医局秘書さんと「お宝探し」と称して厩橋病院のどこかに前橋積善会にまつわる古い品々がないかと旧A棟の地下室をゴソゴソしたり旧作業棟を訪ねたりして展示出来るような物を探したことがあります（残念ながら、

新病棟建設計画が浮上した際は、「ここで作れ」ということだ」と位に思え提案しようとする決めた。前橋積善会の歴史・厩橋病院の歴史をきちんと眺めるなら、これまで資料館の類いがなかった事の方が不思議に思われます。最初の病棟建設会議ですんなりと受容されたのは、誰の発案であれ至極当然のことだったからだと思います。



厩橋病院医師

吉原 厚子